

JICA横浜 海外移住資料館へようこそ!

JICA横浜 海外移住資料館って、どんなところ?

いま、日本にも多くの国々から人々が移り住んでいます。かつて、たくさんの日本人が海を渡っていたということを、皆さんはご存じですか?今からおおよそ150年前、明治時代よりも前に、日本から海外へ、多くの人々が渡っていきました。その数はおおよそ100万人とも言われています。

現在、海外で生活する日本人移住者やその子孫である日系人の数は300万人を超え、また、最近では多くの日系人が仕事や勉強のために来日しています。

JICA横浜 海外移住資料館では、海を渡って海外で暮らす日本人移住者とその子孫である日系人が、移住した国でどのような経験や貢献をしてきたのかを学ぶことができます。

JICA(ジャイカ)は、世界が平和になり、全ての人々が幸せに暮らせるようになるために、開発途上国でさまざまな取り組みを行っている機関ですが、かつては主に中南米への日本人移住に関する仕事をしてきました。移住者を送り出す仕事はすでに終わっていますが、今もここJICA横浜を拠点として、中南米に暮らす日系人を対象にした様々な支援を行っています。そして、多くのみなさんに「日本人の海外移住の歴史」を知ってもらうために、海外移住資料館を設置しています。



海外移住って、ナニ?

「移住」とは、今まで住んでいた土地から別の土地に移り住むことをいいます。海外へ移り住むことを「海外移住」といいます。また、移住した人々を「移住者」といいます。



日系人って、どんな人たち?



日本から海外に移り住んだ日本人とその子孫にあたる人々を「日系人」と呼んでいます。

海外移住資料館のテーマ

「われら新世界に参加す」って、ナニ?

日系人は、移住した国や地域の農林漁業や商業、工業、そして政治や医療、教育などのあらゆる分野で活躍しています。日系人は、現地の人々と一緒に生活して、移住した国や地域の文化や生活に貢献している「国際協力先駆者」なのです。「われら新世界に参加す」とは、「私たちは、移住した国でみんなと一緒に素晴らしい国をつくるぞ!」という日系人の意気込みを表した言葉です。



日本人の海外移住の歴史



日本人が海を渡ったはじまり

日本人が外国に行くことができるようになったのは、今からおよそ150年前。1866年、「御免の印章」という、いまのパスポートにあたるものが発行されたのが、そのはじまりです。



ハワイから北米、そして南米へ

その後、ハワイ王国のサトウキビ農場で働く労働者として、1885年から10年間で、約2万9千人の日本人がハワイへ渡りました。これを「官約移民」と呼びます。のちにハワイ王国がアメリカ合衆国の一部となると、ハワイからアメリカ本土へ、日本からアメリカ本土へ向かう人も増えてきました。しかし、当時のアメリカでは、日本人移住者を受け入れない動きが強くなっていました。

そうした世の中の様子を受けて、1908年には、ブラジルへの移住がはじまりました。ブラジルに渡った日本人は、コーヒー農場の労働者として働きました。最初は、海外で働いてお金をため、日本に戻ることを考えていた人がほとんどでしたが、次第に移住した国に定住する人が多くなりました。

戦争で、移住者の暮らしも変わりました

第二次世界大戦が起こると、アメリカやカナダでは日本人とその子孫である日系人は敵とみなされました。そのため、多くの方が土地や家をとられたり、「強制収容所」にいれられたりしました。南米でも、住む場所が制限されたり、日本人の経営するお店が壊されたり、日本語学校が閉鎖されたりと、日本人移住者は、それまでと同じ暮らしができなくなってしまいました。

戦争が終わって

戦争が終わったあとも、北米や南米では、日系人に対する偏見や差別は、簡単に消えません。そのような状況でも、日系人は日本に救援物資を送る運動を起こし、毛布や粉ミルクなどたくさんの生活物資を日本に送りました。これらの品々は「ララ物資(LARA)」と呼ばれ、日本人の6人に1人がその恩恵を受けました。※LARA: Licensed Agencies for Relief in Asia(アジア救援公認団体)の略



再び始まった海外移住

戦後、日本人の海外移住が再び始まるようになると、多くの日本人が南米の国々へ渡りました。しかし、1960年代以降はその数も少なくなりました。JICAは戦後、おもに中南米への日本

人移住に関する仕事をしてきましたが、1993(平成5)年には、国の方針として、移住者を送る仕事を終えました。今、JICAはさまざまな「移住者・日系人支援」の仕事をしています。



てん じ じょう けん がく 展示場を見学してみよう!

てん じ じょう けん がく くらん
展示場を見学して、空欄をうめていきましょう。わか
らなところがあったら、資料館のスタッフに質問し
てくださいね!

7 ブラジルへ移住した人々が栽培した代表的な農作物は何でしょう? 3つ書いてみよう!

()
()
()

6 移住者は、日本からどんなものを持っていきましたか? トランクのコーナーから3つ書いてみよう!

() () ()
今、あなたが移住するとしたら何を携っていきたくですか? 3つ書いてみよう!
() () ()

5 最後の移民船「にっぽん丸」は何年に横浜を出航したでしょう?

()

4 アリアンサ移住地では、「コーヒーよりも()をつくれ」という高い理想がかかげられました。

()

8 移住者たちはどんな仕事をしていたでしょう? 3つ書いてみよう!

ヒント: 「なりわい万華鏡」を見てみよう!

()
()
()

3 最初にハワイに出稼ぎに行った移住者は、何を農園で働いたでしょう?

()

10 この写真は、ハワイ・マウイ島へ渡った移住者の家族写真だよ。1891年に山口県から移住した人の子孫なんだ。現在はその方の孫である3世(右端のおじいさん)から()世までの、58人が暮らしているよ。肌の色や、髪の色が違う大家族、楽しそうだね!

9 白いご飯にキムチや焼き肉、サラダなどが盛りつけられている料理は、ミックプレートというんだ。さあ、どこの国の料理かな?

ヒント: さとうきび農園でのお昼のお弁当交換のなごりだよ。

()

1 これは野菜山車というんだ。1920年、アメリカのフェスティバルで賞をとったよ。日本人が()分野で貢献したことがわかるね。屋根全体の飾り、手前はアメリカ合衆国の国旗、反対側はどこの国の国旗かな?

()

2 日本から一番多く移住者が出ている県は何県かな?

() 県

あなたの都道府県からは移住者が何人でいるかな?

() 都道府県

() 人



この漢字、何て読むの？

これらの漢字は、資料館で紹介している日本人が移住した国の名前を表しています。何と読むのでしょうか？
空欄をうめてみましょう！

(ヒント：このページにある国旗の国だよ！)



① 亜米利加



② 墨西哥

③ 伯刺西爾



④ 亜爾然丁

⑤ 加奈陀



⑥ 秘露



⑦ 暮利比亞

⑧ 土弥尼加

⑨ 巴拉圭

⑩ 古倫比亞



日本人が移住した国の言葉を覚えてみよう！

資料館で紹介している日本人が移住した国では、英語、スペイン語、ポルトガル語が使われています。「ありがとう」という言葉と「私の名前は〇〇〇です」というフレーズを覚えてみましょう！

ありがとう

英語

"Thank you" (サンキュー)

スペイン語

"Gracias" (グラシアス)

ポルトガル語

"Obrigado" (オブリガード)
【女性は"Obrigada" (オブリガーダ)】

私の名前は〇〇〇です

英語

"My name is 〇〇〇" (マイ ネーム イズ 〇〇〇)

スペイン語

"Mi nombre es 〇〇〇" (ミ ノンブレ エス 〇〇〇)

ポルトガル語

"Meu nome é 〇〇〇" (メウ ノーミ エ 〇〇〇)

Thank you

Gracias

Obrigado



かい がい い じゅう し りょう かん らい かん き ねん
海外移住資料館 来館記念スタンプ

ここおしてね!



- **開館時間** 10:00~18:00(入館は17:30まで)
- **休館日** 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日)、
年末年始(12月29日~1月3日)
- **入館料** 無料

アクセス

- **みなとみらい線**
 「馬車道」駅(4番出口)から徒歩約8分
 「みなとみらい」駅(クィンズスクエア方面改札)から徒歩約15分
- **JR線・市営地下鉄**
 「桜木町」駅から(汽車道→ワールドポーターズ→サークルウォーク)
 徒歩約15分



独立行政法人国際協力機構 横浜国際センター
海外移住資料館



GREEN PRINTING JFPI
 P-D10006

この印刷製品は、環境に配慮した
 資材と工場で製造されています。